



夢・いっぱい

第8号

令和3年11月25日

2021年度の経営方針：今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

小中一貫教育の取組が深まっています

校長 原田 剛

昨年度から岩国市が進めている小中一貫教育の取組では、義務教育9年間を通して継続的で一貫性のある教育を行うことで、児童生徒一人ひとりの個性を伸ばし、夢の実現につなげていくことをめざしています。川下中学校区においては、小中学校の一貫性はもちろんのこと、「あったかネット」を中心とした地域のみなさんのご協力により、その取組が支えられています。

今回は、11月に行われた2つの取組をご紹介します。

校区内クリーン大作戦

「あったかネット」主催で開催されました。参加者は、各小学校の5年生と川下中学校の1年生、そして、地域や保護者のみなさんです。

愛宕小学校区では、小中学生がグループに分かれ、約1時間に渡って各地域のゴミ拾いをしました。新型コロナウイルスの状況が落ち着かない中での計画であったため、開催案内が大変遅くなりましたが、コロナ禍前のように地域の方と一緒に活動することができました。



中学生と一緒にゴミを拾う小学生

地域の方からは、「地区まちづくりの同志として、生徒

さんたちと美化活動に協力できますことは、とても若返ります。」「学校教育の一環として、よい取組だと思う。子どもらしく自然体の活動で、今後とも継続してほしい。」といった温かいお気づきをいただきました。ご協力、ありがとうございました。

小中一貫研究発表会

岩国市教育委員会指定「岩国市小中一貫教育に係る確かな学力推進研究事業」の研究発表会が川下中学校で開催されました。

当日は、約200名の参加者がありましたが、会に先立ち行われた生徒による全校合唱は、参加者の心に染みる発表であり、小中一貫教育の成果として、小学校を卒業した子どもたちの成長を実感することができました。

また、公開授業では、5年1組の児童が川下中学校へ移動し、担任の田村教諭の指導



グループで考え方を話し合う5年生

のもと、算数科の授業を公開しました。中学2年生の教室での授業ということで、かなり高い机・いす、参観者も多数という普段とは違う環境でしたが、いつもと変わらない雰囲気と熱心に学習に取り組んでいました。「15の春」を目標に、学校・地域が共に子どもたちを育てていきたいものです。